

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	日本の接客Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	日本の接客Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティ-国際科	1	15
使用教材	—		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界やサービス業に必要とされるサロンマナーを知り、日本で働く社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ				
到達目標	日本社会で働く上での最低限の常識・ルール・マナーを習得する 「サービス接客実務検定」3級に相当するマナー・接客知識、技術を習得する				
評価基準	小テスト：40% テスト：30% プレゼンテーション：20% 授業態度：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	日本の接客Ⅱ、日本の接客Ⅲ、日本の接客Ⅳ、就職対策Ⅰ、就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	徳山 麻美子	実務経験		○	
実務内容	マナー講師、司会育成講師として10以上勤務をした実務経験を基に、日本社会で働く上での最低限の常識・ルール・マナーを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入、自己紹介 成績評価・検定	教員の自己紹介、日本社会におけるビジネスマナー（社会人常識）の重要性を伝達、生徒自己紹介、授業の目的、到達目標について
2	サービス業の基本知識①	サービス業や職種・目的・行為による分類について知る
3	サービス業の基本知識②	サービススタッフの資質や必要とされる要件について学ぶ 身だしなみについて学び、事例研究
4	サービス業の基本知識③	
5	サービス業の基本知識④	日本の祝祭日やサービス業に関わる年中行事について学ぶ
6	サービス業の基本知識⑤	
7	小テスト実施	授業で行った内容についての理解度を図るため、小テストを実施
8	敬語①	接客場面で使われる名詞の言い換えについて学ぶ
9	敬語②	
10	小テスト実施	授業で行った内容についての理解度を図るため、小テストを実施
11	敬語③	二重敬語やアルバイトで使っている敬語について、敬語の知識で間違いやすいものと接客用語を説明、尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践☒
12	敬語④	
13	振り返り	前期授業で学んだ敬語およびビジネスマナーの常識についてを振り返り、プレゼンテーションを実施
14	期末テスト	前期末のテストを実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	日本の接客Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	日本の接客Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティ-国際科	1	15
使用教材	日本語能力試験 N2直前対策ドリル&模試 文字・語彙・文法/ 日本語能力試験 N3直前対策ドリル&模試 文字・語彙・文法		出版社	有限会社Jリサーチ出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日本のサービス業で働く社会人として必要とされる日本語力を高め、日本語能力試験JLPTの合格に向けて、試験対策を行う				
到達目標	日本語能力試験JLPT N2~N3に相当する語彙力や文法知識を身につけ、日本社会で働く上でのビジネス場面や日常生活で活用できるようにする				
評価基準	小テスト：40% テスト：40% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	-				
関連科目	日本の接客Ⅰ、日本の接客Ⅲ、日本の接客Ⅳ、就職対策Ⅰ、就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	徳山 麻美子	実務経験	○		
実務内容	マナー講師、司会育成講師として10以上勤務をした実務経験を基に、日本社会で働く上での最低限の常識・ルール・マナーを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入、自己紹介 成績評価・検定	教員の自己紹介、日本での就職における日本語能力の重要性を伝達、 生徒自己紹介、授業の目的、到達目標について
2	JLPT対策問題①	日本語能力試験N2~N3の対策問題を解く 問題解説
3	JLPT対策問題②	
4	JLPT対策問題③	
5	JLPT対策問題④	
6	文字語彙①	日本語能力試験N2~N3対策で形容詞、副詞、擬音語、擬態語を学ぶ
7	文字語彙②	
8	文字語彙③	
9	中間テスト	授業で行った内容についての理解度を図るため、小テストを実施
10	JLPT対策問題⑤	日本語能力試験N2~N3の対策問題を解く 問題解説
11	JLPT対策問題⑥	
12	JLPT対策問題⑦	
13	JLPT対策問題⑧	
14	期末テスト	前期末のテストを実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	日本の接客Ⅲ		
必修選択	必修	(学則表記)	日本の接客Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	1	15
使用教材	—		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界やサービス業に必要とされるサロンマナーを知り、日本で働く社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ				
到達目標	日本社会で働く上での最低限の常識・ルール・マナーを習得する 「サービス接客実務検定」3級に相当するマナー・接客知識、技術を習得する				
評価基準	小テスト：40% テスト：30% プレゼンテーション：20% 授業態度：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	日本の接客Ⅰ、日本の接客Ⅱ、日本の接客Ⅳ、就職対策Ⅰ、就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	徳山 麻美子	実務経験		○	
実務内容	マナー講師、司会育成講師として10以上勤務をした実務経験を基に、日本社会で働く上での最低限の常識・ルール・マナーを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入、自己紹介 成績評価・検定	教員の自己紹介、日本社会におけるビジネスマナー（社会人常識）の重要性を伝達、生徒自己紹介、授業の目的、到達目標について
2	前期の復習 小テスト	接客と敬語、従業要件、サービス知識、服装について 前期で実施した授業内容の習熟度を測るための小テストを実施、解説を行う
3	敬語①	接客場面で使われる「クッション言葉」について学ぶ
4	敬語②	
5	小テスト実施	授業で行った内容についての理解度を図るため、小テストを実施
6	社会常識①	「サービス接客実務検定」3級内容の体の部位に関する慣用表現について学ぶ 例文を作成
7	社会常識②	
8	小テスト実施	授業で行った内容についての理解度を図るため、小テストを実施
9	接客場面から学ぶ①	接客場面から電話の取り方、接客マナーを学び、ロールプレイを実施
10	接客場面から学ぶ②	
11	接客場面から学ぶ③	
12	接客場面から学ぶ④	
13	振り返り	後期授業で学んだ敬語およびビジネスマナーの常識についてを振り返り、プレゼンテーションを実施
14	期末テスト	後期末のテストを実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	日本の接客IV		
必修選択	必修	(学則表記)	日本の接客IV		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティ-国際科	1	15
使用教材	—		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日本のサービス業で働く社会人として必要とされる日本語力を高め、日本語能力試験JLPTの合格に向けて、試験対策を行う				
到達目標	日本語能力試験JLPT N2~N3に相当する語彙力や文法知識を身につけ、日本社会で働く上でのビジネス場面や日常生活で活用できるようにする				
評価基準	小テスト：40% テスト：40% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	日本の接客Ⅰ、日本の接客Ⅱ、日本の接客Ⅲ、就職対策Ⅰ、就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	徳山 麻美子	実務経験		○	
実務内容	マナー講師、司会育成講師として10以上勤務をした実務経験を基に、日本社会で働く上での最低限の常識・ルール・マナーを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入、自己紹介 成績評価・検定	教員の自己紹介、日本での就職における日本語能力の重要性を伝達、生徒自己紹介、授業の目的、到達目標について
2	JLPT対策問題①	日本語能力試験N2~N3の対策問題を解く 問題解説
3	JLPT対策問題②	
4	JLPT対策問題③	
5	JLPT対策問題④	
6	文字語彙①	日本語能力試験N2~N3対策で形容詞、副詞、擬音語、擬態語を学ぶ
7	文字語彙②	
8	文字語彙③	
9	中間テスト	授業で行った内容についての理解度を図るため、小テストを実施
10	JLPT対策問題⑤	日本語能力試験N2~N3の対策問題を解く 問題解説
11	JLPT対策問題⑥	
12	JLPT対策問題⑦	
13	JLPT対策問題⑧	
14	期末テスト	前期末のテストを実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	技術理論Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	技術理論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	3	45
使用教材	留学生のための漢字の教科書 中級700 [改訂版]		出版社	国書刊行会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	・美容知識を学ぶ上、各教科の授業に対応できるよう漢字を習得し漢字力を養う ・実技授業にて学ぶ専門用語・知識の習熟度を高める				
到達目標	・日本で生活する上で必要とされる漢字を習得 ・N2~N3に相当する漢字の読み書きができるようになる				
評価基準	小テスト：40% 期末テスト：30% 中間テスト：20% 授業態度：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	-				
関連科目	ヘアテクニックⅠ、メイクアップⅠ、ネイルテクニックⅠ、トータルビューティーⅠ、フェイシャルスキンケアⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	徳山 麻美子 他1名	実務経験	○		
実務内容	マナー講師、司会育成講師として10以上勤務をした実務経験を基に、実技授業にて学ぶ専門用語・知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入、自己紹介 成績評価・JLPTについて	教員の自己紹介、日本社会における漢字の読み書き（座学授業・就職）の重要性を伝達、生徒自己紹介、授業の目的、到達目標、JLPT受験の重要性について
2	実力テスト実施①	現段階での漢字レベルを図るため、漢字の実力テストを実施 漢字や文字語彙の復習を行う
3	実力テスト実施②	
4	常用漢字について①	初級で学習した漢字の中級での読み方を習得 日常生活で使う語彙と漢字の使い方について学ぶ
5	常用漢字について②	
6	常用漢字について③	
7	常用漢字について④	
8	中間テスト	中間テストを実施
9	常用漢字について⑤	中級漢字の書き方・意味・読み方・関連語彙を習得 日常生活で使う語彙と漢字の使い方について学ぶ
10	常用漢字について⑥	
11	常用漢字について⑦	
12	常用漢字について⑧	
13	振り返り	前期授業で学んだ必要とされる漢字や語彙についてを振り返り
14	期末テスト	前期末のテストを実施する
15	総合授業	前期授業のまとめを行う（テストの振り返り含む）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	技術理論Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	3	45
使用教材	留学生のための漢字の教科書 中級700 [改訂版]		出版社	国書刊行会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・美容知識を学ぶ上、各教科の授業に対応できるよう漢字を習得し漢字力を養う ・実技授業にて学ぶ専門用語・知識の習熟度を高める 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で生活する上で必要とされる漢字を習得 ・N2~N3に相当する漢字の読み書きができるようになる 				
評価基準	小テスト：40% 期末テスト：30% 中間テスト：20% 授業態度：10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	-				
関連科目	ヘアテクニクⅠ/Ⅱ、メイクアップⅠ/Ⅱ、ネイルテクニクⅡ、トータルビューティーⅡ、フェイシャルスキンケアⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	徳山 麻美子 他1名	実務経験	○		
実務内容	マナー講師、司会育成講師として10以上勤務をした実務経験を基に、実技授業にて学ぶ専門用語・知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習 小テスト	日本社会における漢字の読み書き（座学授業・就職）、JLPT受験の重要性を再度伝達 前期で実施した授業内容の習熟度を測るための小テストを実施、解説を行う
2	常用漢字について①☒	中級漢字の書き方・意味・読み方・関連語彙を習得 日常生活で使う語彙と漢字の使い方について学ぶ
3	常用漢字について②	
4	常用漢字について③	
5	常用漢字について④	
6	常用漢字について⑤	
7	中間テスト	中間テストを実施
8	常用漢字について⑥	中級漢字の書き方・意味・読み方・関連語彙を習得 ビジネス場面で使う日本語表現とマナーについて学ぶ
9	常用漢字について⑦	
10	常用漢字について⑧	
11	常用漢字について⑨	
12	常用漢字について⑩	
13	振り返り	後期授業で学んだ必要とされる漢字や語彙についてを振り返り
14	期末テスト	後期末のテストを実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	1	15
使用教材	—		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界就職に対する知識/意識付けを学ぶ				
到達目標	美容業界における自身のなりたい像が描ける				
評価基準	テスト40%、提出物40%、授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	日本の接客Ⅰ、日本の接客Ⅱ、日本の接客Ⅲ、日本の接客Ⅳ、就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	田村 達也	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・導入	授業の概要・流れ・評価基準・到達目標について
2	スタブロ振り返り①	報道相や挨拶の方法など、社会人として必要のマナーについて復習
3	スタブロ振り返り②	学園生活でどのように活かしていくかを考える
4	学園生活での目標設定①	学園生活での目標設定（グループワーク）
5	学園生活での目標設定②	学園生活での目標設定（グループワーク）
6	学園生活での目標設定③	学園生活での目標設定（グループ発表）
7	日本の美容業界研究①	日本の美容業界と希望する職業についての知識を深める
8	日本の美容業界研究②	二重敬語やアルバイトで使っている敬語について、敬語の知識で間違いやすいものと接客用語を説明、尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践
9	日本の美容業界研究③	希望する職業や学科コースの授業見学を行う
10	目標設定	美容を通して社会に貢献できる人材になるために必要なこと（個人ワーク）
11	目標設定（テスト）	美容を通して社会に貢献できる人材になるために必要なことについて発表（個人ワーク）
12	外国人が活躍できる美容の仕事・企業	日本で美容を学んだ後、美容業界で活躍・成功している外国人の実例を紹介 外国人の就労を認めている企業や実例を自ら調べる
13	外国人が活躍できる美容の仕事・企業	外国人の就労を認めている企業や実例を発表
14	期末テスト	前期の振り返りとして、授業内に設定した学園生活の目標について200字の作文テスト
15	総合授業	前期授業のまとめを行う（テストの振り返り含む）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	1	15
使用教材	—		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	身につけた美容業界就職に対する知識・技術を総集し形にすることで、就職に対する意識を増幅する				
到達目標	美容業界における自身のなりたい像が描けるように、卒業後の進路（2年制課程への進級）が明確になる				
評価基準	テスト40%、提出物40%、授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	日本の接客Ⅰ、日本の接客Ⅱ、日本の接客Ⅲ、日本の接客Ⅳ、就職対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	田村 達也	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	授業内容の説明・評価基準の説明
2	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介とステージアップの流れの説明
3	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介（美容科）
4	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介（ヘアメイク科）
5	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介（トータルビューティー科）
6	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介（トータルビューティー科）
7	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、就職活動の流れを紹介
8	自己分析・他己分析	二重敬語やアルバイトで使っている敬語について、敬語の知識で間違いやすいものと接客用語を説明、尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践
9	日本の就職活動について	自己PR作成、履歴書の書き方について学ぶ
10	日本の就職活動について	自己PR作成、履歴書の書き方について学ぶ
11	日本の就職活動について	面接マナーを学び、模擬面接を行う
12	日本の就職活動について	面接マナーを学び、模擬面接を行う
13	目標設定	卒業後の目標を考える（個人ワーク） 卒業後の具体的な進路を考える（個人ワーク）
14	人生のビジョン設計	人生のビジョン・具体的なライフプランを考える 1年間を通して自身が成長したと思う点を分析し、今後伸ばしたいと思う点を考える
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	メイクアップⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	メイクアップⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	2	60
使用教材	メイク道具一式	出版社	—		

科目の基礎情報②

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケアからフルメイクまでの技術と知識を日本語で実践できる ・特殊メイク、キャラクターメイクなどの特化した技術・知識を習得し、メイクの応用力を身につける 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケアからフルメイクまでの技術理論を理解し人にメイクができるようになる ・ボディアートやベイントのような特化した技術を習得し実践できるようにする 				
評価基準	テスト50%、提出物25%、授業態度等25%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	—				
関連科目	技術理論Ⅰ、技術理論Ⅱ				
備考	週2時間×2日程。原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	宇佐美 望樹 他1名	実務経験	○		
実務内容	舞台メイクを中心にフリーランスのメイクアップアーティストとして7年勤務をした実務経験を元に、スキンケアからフルメイクまでの技術と知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクアップ概論	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)、メイクアップ概論
	オリエンテーション ボディアート①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)ボディアート等の導入
2	ベースメイク	ベースメイク(手順)
	ボディアート②	ボディアートの導入(使い方・手順)
3	ベースメイク	ファンデーション(手順の復習、質感・多色塗)
	ボディアート③	ボディアートの実践(復習・アート練習)
4	スキンケア/ベースメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り
	ボディアート④	ボディアートの実践(アート課題練習)
5	ベースメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ポイントメイク(アイシャドウ)
	ボディアート⑤	ボディアートの実践(実技テスト)
6	ベースメイク/ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク)
	傷メイク①	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの導入

7	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
	傷メイク②	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践
8	ポイントメイク	ポイントメイク(アイブロウ)
	傷メイク③	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践(実技テスト)
9	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)
	ボディジュエリー①	ボディジュエリーの導入(使い方・手順)
10	ポイントメイク	ベースメイクから全てのポイントメイクを行う
	ボディジュエリー②	ボディジュエリーの実践(転写)
11	フルメイク	フルメイクテスト40分、ベーシックテクニックの振り返り
	エアブラシ①	エアブラシの導入(セッティング・使い方)
12	フルメイク	フルメイク(ソフト)
	エアブラシ②	エアブラシの実践(単色)
13	フルメイク	スキンケア(手順)、反復練習
	エアブラシ③	エアブラシの実践(混色)
14	フルメイク	フルメイク(シャープ)
	エアブラシ④	エアブラシの実践(課題プリント)
15	総合授業	まとめを行う
	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	メイクアップⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	メイクアップⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティyer国際科	2	60
使用教材	メイク道具一式	出版社	-		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ショーのシーンや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする				
到達目標	メイク技術の基礎を理解し、技術ができるようになる				
評価基準	実技テスト50%、提出物25%、授業態度等25%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	技術理論Ⅰ、技術理論Ⅱ				
備考	週2時間×2日程。原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	宇佐美 望樹 他1名	実務経験	○		
実務内容	舞台メイクを中心にフリーランスのメイクアップアーティストとして7年勤務をした実務経験を元に、スキンケアからフルメイクまでの技術と知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ブライダル概論、基礎知識	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認<名称、使い方、管理(セッティング)方法>、イメージをつかませるため教員によるデモまたはブライダルの映像鑑賞、コラージュ作成
2	ブライダルメイク	ドレス別のメイク実習(実践)
3	ショーメイク①	Wラインの使ったメイク(導入、実践)
4	ショーメイク②	グリッター・メイク用品のデコレーション素材の使い方(導入、実践)
5	ショーメイク③	色の発色、グラデーションの見せ方(導入、実践)
6	ショーメイク④	テーマに合わせてショーメイク(フルメイク実践)を行う
7	舞台メイク①	舞台の男役メイクを実践する
8	舞台メイク②	舞台の女役メイクを実践する
9	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践) テーマに合わせて行う
10	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
11	トレンドメイク③	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
12	作品制作①	デッサンに合わせたデザインの作品制作と振り返り
13	作品制作②	デッサンに合わせたデザインの作品制作と振り返り
14	作品制作③	デッサンに合わせたデザインの作品制作と振り返りテスト
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルテクニクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルテクニクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	2	60
使用教材	ネイル道具一式	出版社	—		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルケア、カラーリングの技術・手順を理解し、実践できる				
到達目標	基本的技術の習得				
評価基準	実技テスト：40%、宿題：30%、小テスト：20%、授業態度：10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級				
関連科目	技術理論Ⅰ、ネイルテクニクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	鈴木 美樹 他3名	実務経験	○		
実務内容	都内ネイルサロンでネイリストとして勤務10年、ネイル認定講師歴19年の勤務経験を基に、ネイルに必要な知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	教材配布 (名称及び用途説明)	道具に名前を付けさせる。ウッドスティックの整え方・コットンの巻き方
	ネイル概論 (爪の構造と働き) ファイリング実技 (トレーニングハンド)	爪の構造、名称を理解する。トレーニングハンドを使用し、ファイリングの手順、5パターンのカットスタイルの違いを理解する
2	座学復習 ファイリング実技 (トレーニングハンド)	座学復習。チップに5種類のカットスタイルを施す
	テーブルセッティング ファイリング実技 (相モデル)	テーブルセッティングを学ぶ ファイリング、シャイニングを人の手に行う
3	カラーリングデモ・シート実技 カラーリング実技 (相モデル)	シートを使用し、ボトルの持ち方、ポリッシュの量、塗り方を学ぶ (持ち塗り、置き塗り) カラーリングのデモを見せる。オフの仕方学ぶ。
	カラーリング実技 (相モデル)	相モデルでカラーリングを施す
4	カラーリング実技 (相モデル)	相モデルでカラーリングを施す
	ペイントアート実技 (チップ)	アクリル絵の具使用のペイントアートを学ぶ
5	ペイントアート実技 (相モデル)	テーマを決め、相モデルでアート練習
	ペイントアート実技 (相モデル)	テーマを決め、相モデルでアート練習
6	ケア デモンストレーション ケア実技(自分の手)	ケアのデモンストレーションを見せる。正しい使用方法、手順を学ぶ 自分の手にやってみる
	ケア実技 (相モデル)	相モデルでケアを行う。プッシャー、ニッパーの使用法の確認。

7	ケア・カラーリング実技	実技テストを向けてのケア・カラー練習
	カラー・アート実技	実技テストを向けてのカラー・アート練習
8	実技試験（テスト）	ケア～アートまでの技術を時間内に仕上げる
	実技試験（テスト）	ケア～アートまでの技術を時間内に仕上げる
9	ポリッシュアート（相モデル）	白やピングなどのマットカラーのカラーリング練習ラメグラデーション・フレンチ・シボレー・マーブル・ウォーターマーブル・トレンドアート・アニマル柄・チェックなど、含んだ流行のアート実技
	ポリッシュアート（相モデル）	白やピングなどのマットカラーのカラーリング練習ラメグラデーション・フレンチ・シボレー・マーブル・ウォーターマーブル・トレンドアート・アニマル柄・チェックなど、含んだ流行のアート実技
10	ポリッシュアート（相モデル）	白やピングなどのマットカラーのカラーリング練習ラメグラデーション・フレンチ・シボレー・マーブル・ウォーターマーブル・トレンドアート・アニマル柄・チェックなど、含んだ流行のアート実技
	ポリッシュアート（相モデル）	白やピングなどのマットカラーのカラーリング練習ラメグラデーション・フレンチ・シボレー・マーブル・ウォーターマーブル・トレンドアート・アニマル柄・チェックなど、含んだ流行のアート実技
11	ポリッシュアート（相モデル）	白やピングなどのマットカラーのカラーリング練習ラメグラデーション・フレンチ・シボレー・マーブル・ウォーターマーブル・トレンドアート・アニマル柄・チェックなど、含んだ流行のアート実技
	ペイントアート実技（チップ）	テーマを決め、アートチップを作成する
12	ペイントアート実技（チップ）	テーマを決め、アートチップを作成する
	ペイントアート実技（相モデル）	テーマを決め、相モデルでアート練習
13	実技試験（テスト）	授業の総復習としてアートを含め実技を行う（ペイントアート&ポリッシュアート）
	実技試験（テスト）	授業の総復習としてアートを含め実技を行う（ペイントアート&ポリッシュアート）
14	ケア&シャイン	ケアを行い、シャイナーの使い方をマスターする
	シールアート（相モデル）	最新のネイルグッズを使い、シールアート・ストーンアートを学ぶ
15	授業内コンテスト	授業の総復習として、アートチップを5枚作成する
	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルテクニクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルテクニクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	2	60
使用教材	ネイル道具一式	出版社	—		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルの楽しさを知り、ジェルネイル・爪の修復・補強の技術と手順を理解し、実践できる				
到達目標	基本的技術の習得				
評価基準	実技テスト：40%、宿題：30%、小テスト：20%、授業態度：10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	—				
関連科目	技術理論Ⅱ、ネイルテクニクⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	鈴木 美樹 他3名	実務経験	○		
実務内容	都内ネイルサロンでネイリストとして勤務10年、ネイル認定講師歴19年の勤務経験を基に、ネイルに必要な知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材の名称及び説明 ジェル講義・デモンストレーション	教材説明 ライトで硬化するジェルシステムを学ぶ
	ジェル講義復習・ジェルカラー実技	座学復習 チップ・自爪にジェルカラーリングを施す
2	ジェルカラー実技（相モデル）	相モデルでジェルカラーを施す
	プレパレーション講義・デモンストレーション	プレパレーションを学ぶ。自爪にプレパレーションを施す
3	ジェルオフデモンストレーション	相モデルでジェルオフを実習
	ジェルカラー実技（相モデル）	相モデルでジェルカラー（パール・シアー・ラメカラー）を施す
4	ジェルカラー実技（相モデル）	相モデルでジェルカラー（パール・シアー・ラメカラー）を施す
	ジェルアート講義・デモンストレーション・実技	グラデーション、チェック、ピーコック、フラワーなど定番なアートを学ぶ
5	ジェルアート講義・デモンストレーション・実技	グラデーション、チェック、ピーコック、フラワーなど定番なアートを学ぶ
	ジェルアート講義・デモンストレーション・実技	グラデーション、チェック、ピーコック、フラワーなど定番なアートを学ぶ
6	ジェルアート講義・デモンストレーション・実技	グラデーション、チェック、ピーコック、フラワーなど定番なアートを学ぶ
	実技試験（テスト）	授業の復習としてアートを含め実技を行う（ジェルカラー・アート）

7	実技試験（テスト）	授業の復習としてアートを含め実技を行う（ジェルカラー・アート）
	ジェルアート（3Dアート） デモンストレーション・実技	ジェルで3Dアートを制作する
8	ジェルアート（3Dアート） デモンストレーション・実技	ジェルで3Dアートを制作する
	ジェルアート（3Dアート） デモンストレーション・実技	ジェルで3Dアートを制作する
9	アートチップ制作	授業内コンテストを行い、アートチップを制作する
	アートチップ制作	授業内コンテストを行い、アートチップを制作する
10	アートチップ制作	授業内コンテストを行い、アートチップを制作する
	アートチップ制作	授業内コンテストを行い、アートチップを制作する
11	ハンドトリートメント講義・デモンストレーション ハンドトリートメント実技	ハンドトリートメントについて学ぶ
	ケア・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントについて学ぶ
12	リペア（シルク、レジン） 講義・デモンストレーション・実習	爪の補修・補強（シルクラップ）およびチップによる長さだしの技術を学ぶ
	シルクラップ（相モデル）	爪の補修・補強（シルクラップ）およびチップによる長さだしの技術を学ぶ
13	実技試験（テスト）	シルクラップの技術を時間内に仕上げる
	ジェルアート講義・デモンストレーション・実技	たらしこみネイル、ミラーネイルなど流行りのアートを学ぶ
14	ジェルアート講義・デモンストレーション・実技	たらしこみネイル、ミラーネイルなど流行りのアートを学ぶ
	ストーンアート（相モデル）	最新のネイルグッズを使い、ジェルでシールアート・ストーンアートを学ぶ
15	ストーンアート（相モデル）	最新のネイルグッズを使い、ジェルでシールアート・ストーンアートを学ぶ
	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャルスキンケア		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルスキンケア		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	1	30
使用教材	クリエーナ化粧品・タオル類・消耗品類		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルエステティックの流れ・基本の手技を覚える				
到達目標	ホスピタリティーの実践 基本的なフェイシャル技術を提供できるようになる				
評価基準	実技試験2回 出席表の提出				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	—				
関連科目	技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	金濱 まり子 他2名	実務経験	○		
実務内容	エステティシャンとしてイギリスの客船内SPAで33年勤務した実績を基に、基本的なフェイシャル技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ・到達目標について
2	接客マナー（相モデル）	挨拶・身嗜み・言葉遣い・基本動作・ベッド誘導
3	フェイシャルエステティックとは	フェイシャルエステティックの目的と効果、 フェイシャルエステティックの流れ・事前準備
4	フェイシャルマッサージ	マッサージ導入・デモンストレーション・ご案内-軽擦法-強擦法-揉捻法-HOTタオルふき取り
5	フェイシャルマッサージ	マッサージ導入・デモンストレーション・ご案内-打法・振動法-圧迫法-軽擦法-HOTタオルふき取り
6	フェイシャルマッサージ	マッサージ通し練習・ご案内-フェイシャルマッサージ-ふき取り-誘導
7	フェイシャルマッサージ	マッサージ通し練習・ご案内-フェイシャルマッサージ-ふき取り-誘導
8	フェイシャル実技試験	成績評価①
9	フェイシャル機器・パック	吸引導入・デモンストレーション
10	フェイシャル機器・パック	パック導入・デモンストレーション
11	フェイシャル機器・パック	吸引・パック練習
12	フェイシャル機器・パック	吸引・パック練習
13	フェイシャル実技試験	成績評価②
14	フェイシャル総合	吸引・マッサージ・パック通し練習
15	フェイシャル総合	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアテクニク		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアテクニク		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティ国際科	2	60
使用教材	-		出版社	-	

科目の基礎情報②

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・美容の技術と知識を幅広い基礎知識を習得する ・シーンに合わせた技術を身に付け自信と実践力を強化する 				
到達目標	ヘアアレンジ、カラーのスキルをあげる 名称を知り、髪の毛や道具の扱い方・逆毛・ピンニング・アレンジスタイルの試験合格				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ヘアテクニクⅡ、技術理論Ⅰ、技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	齋藤 朱由朱 他2名	実務経験	○		
実務内容	ヘアアレンジサロンで数年、勤務をした実務経験を基に、シーンに合わせた技術と実践力を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ブロッキング～ブロー	この授業の目的・評価基準・マナール再確認、教材確認(名称・扱い方・管理方法) ヘアアレンジ基礎、ブロッキング、ブロー
2	用具、道具の名称 ブロー	用具、道具の確認、ブロッキング ウェット、ドライ、ブロー
3	ピンニング、ゴム結び	ピンニング、ゴム結び 小テスト
4	ツインテール 一束結び	ツインテール～お団子 一束結び～シニョン(テスト)
5	コテ巻き	コテの使い方、巻き方別
6	ストレートアイロン	ストレートアイロンの使い方、バリエーション
7	三つ編み、編み込み	三つ編み、四つ編み、フィッシュボーン 編み込み(表・裏)
8	編み込みスタイル	三つ編みの入ったスタイル作り 編み込みスタイルのほぐし方
9	編み込みスタイル スタイリング講座	編み込みスタイルのテスト スタイリング剤の種類と使い方
10	ホットカーラー	ホットカーラーの巻き方
11	ハーフアップ アレンジスタイル	ハーフアップやクウォーターアップでピンニングを確認 アレンジスタイル作り
12	アレンジスタイル	アレンジスタイル作り 小テスト
13	ヘアカラー	ヘアカラーについて説明、塗り方
14	ヘアカラー	ヘアカラー練習、実践
15	ヘアカラー ヘアカラーアレンジ制作	ヘアカラー実践 ヘアカラー～アレンジ作品制作

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	特別ゼミ		
必修選択	選択	(学則表記)	特別ゼミ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティ―国際科	2	60
使用教材			出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①学んだ技術、サロン運営を行う力、現場力を身につける ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる				
評価基準	テスト：20% 小テスト：40% 授業態度：20% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	メイクアップⅠ～Ⅳ、ネイルテクニクⅠ～Ⅳ、ヘア―テクニクⅠ～Ⅳ、フェイシャルスキンケアⅠ～Ⅱ、トータルビューティ―Ⅰ～Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松尾 智子 他2名	実務経験		○	
実務内容	美容室・企業広告関係などでヘアメイクとして25年、サロンでアイリストとして9年勤務をした実務経験を基に、日本の美容業界に必要な接客技術について教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術練習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	
8	サロンワーク技術練習	
9	サロンワーク技術練習	
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	3	45
使用教材	日本語総まとめ N2 文法 (「日本語能力試験」対策)/ 増補改訂版 日本語総まとめ N3文法		出版社	アスク出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	・日本語能力試験 (JLPT) N2～N3合格を目指し、文法知識をつける・日本で働く社会人としての考え方をはじめ、敬語の使い方を学ぶ				
到達目標	・日本で生活する上で必要とされる文法知識を学ぶ ・N2～N3レベルの文法知識について自ら説明でき、運用できるようになる				
評価基準	小テスト：40% 期末テスト：30% プレゼンテーション20% 授業態度：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	-				
関連科目	ヘアテクニックⅠ、メイクアップⅠ、ネイルテクニックⅠ、トータルビューティーⅠ、フェイシャルスキンケアⅠ				
備考	-				
担当教員	徳山 麻美子 他1名	実務経験		○	
実務内容	マナー講師、司会育成講師として10以上勤務をした実務経験を基に、実技授業にて学ぶ専門用語・知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入、自己紹介 成績評価・JLPTについて	教員の自己紹介、日常生活や就職における文法知識や敬語の重要性を伝達、生徒自己紹介、授業の目的、到達目標、JLPT受験の重要性について
2	実力テスト実施	現段階での文法レベルを図るため、文法の実力テストを実施 文法の復習を行う
3	基本文型について①	初級で学習した文法を復習 日常生活でよく使われる文型を学ぶ
4	基本文型について②	
5	基本文型について③	
6	基本文型について④	
7	中間テスト	中間テストを実施
8	基本文型について⑤	中級で学習した文法を復習 日常生活でよく使われる文型を学ぶ
9	基本文型について⑥	
10	基本文型について⑦	
11	基本文型について⑧	
12	基本文型について⑨	
13	振り返り	前期授業で学んだ必要とされる文法知識についてを振り返り
14	期末テスト	前期末のテストを実施する
15	総合授業	前期授業のまとめを行う (テストの振り返り含む)

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	3	45
使用教材	日本語総まとめ N2 文法 (「日本語能力試験」対策)/ 増補改訂版 日本語総まとめ N3文法		出版社	アスク出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語能力試験 (JLPT) N2~N3合格を目指し、文法知識をつける ・日本で働く社会人としての考え方をはじめ、敬語の使い方を学ぶ 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で生活する上で必要とされる文法知識を学ぶ ・N2~N3レベルの文法知識について自ら説明でき、運用できるようになる 				
評価基準	小テスト：40% 期末テスト：30% プレゼンテーション20% 授業態度：10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	—				
関連科目	ヘアテクニックⅠ、メイクアップⅠ、ネイルテクニックⅠ、トータルビューティーⅠ、フェイシャルスキンケアⅠ				
備考	—				
担当教員	徳山 麻美子 他1名	実務経験		○	
実務内容	マナー講師、司会育成講師として10以上勤務をした実務経験を基に、実技授業にて学ぶ専門用語・知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習 小テスト	日本社会におけるビジネスマナー (文法・敬語)、JLPT受験の重要性を再度伝達 前期で実施した授業内容の習熟度を測るための小テストを実施、解説を行う
2	基本文型について①	中級漢字の書き方・意味・読み方・関連語彙を習得 日常生活で使う語彙と漢字の使い方について学ぶ
3	基本文型について②	
4	基本文型について③	
5	基本文型について④	
6	基本文型について⑤	
7	中間テスト	中間テストを実施
8	常用漢字について⑥	中級漢字の書き方・意味・読み方・関連語彙を習得 ビジネス場面で使う日本語表現とマナーについて学ぶ
9	常用漢字について⑦	
10	常用漢字について⑧	
12	常用漢字について⑩	
13	振り返り	後期授業で学んだ必要とされる漢字や語彙についてを振り返り
14	期末テスト	後期末のテストを実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティ国際科	2	60
使用教材	—		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日本の伝統衣装である着物の自装技術・知識を習得する				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄え、技術の習得目安として、修了証を取得する				
評価基準	修了試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	—				
関連科目	技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	小野麻紀子 他3名	実務経験	○		
実務内容	ハウス・レストランウェディングでの各種着付け、広告等スチール撮影での各種着付けを担当し、17年勤務をした実務経験を基に、日本の伝統衣装である着物の自装技術・知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 座学1	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明、浴衣について
2	浴衣の着方1	男性浴衣の着方について学び実践する
3	浴衣の着方2	女性浴衣の着方について学び実践する
4	浴衣の着方3	女性浴衣の着方について学び実践する
5	浴衣の着方4	浴衣(男女)の着方を仕上げる
6	座学2	着物・TPOについて
7	着物の着方	男性着物の着方について学び実践する
8	小紋の着方1	下着・補整・長襦袢について学び実践する
9	小紋の着方2	小紋の着方を学び実践する
10	小紋の着方3	お太鼓結びを学び実践する
11	小紋の着方4	小紋にお太鼓結びを仕上げる
12	小紋の着方5	小紋にお太鼓結びを仕上げる
13	修了試験	修了試験を実施する
14	礼装体験	礼装着物の着装を体験する
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティ―国際科	2	60
使用教材	―		出版社	―	

科目の基礎情報②

授業のねらい	まつ毛エクステンションの理論、眼の周りの病気、禁忌、薬剤の使い方、装着の仕方を学び、実践できる				
到達目標	まつ毛エクステンションに関する技術の習得や知識を蓄え、技術の習得目安として、修了証を取得する				
評価基準	テスト30%、小テスト20%、提出物20%、授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	―				
関連科目	技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松尾 智子 他2名	実務経験		○	
実務内容	美容室・企業広告関係などでヘアメイクとして25年、サロンでアイリストとして9年勤務をした実務経験を基に、まつ毛エクステンションの知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション、 道具確認、ワゴンセッティング	授業の流れとルール説明、道具確認とワゴンセッティング
2	概論、用具	まつ毛エクステンションの概論と用具の説明
3	まつ毛エクステンション 実習①	用具の消毒と手指消毒、ツイザーの持ち方、まつ毛のかき分け方
4	衛生管理	まつ毛エクステンションおよび用具・施術環境の衛生的な管理方法について
5	まつ毛エクステンション 実習②	グルーの取り扱いと使用方法と紙でのまつ毛エクステンションの装着
6	保健（皮膚とまつ毛）	皮膚とまつ毛の構造と病気について
7	まつ毛エクステンション 実習③	Jカールの装着
8	保健（眼）	眼の構造と病気について
9	まつ毛エクステンション 実習④	Cカールの装着
10	テーピング、リムービングの使い方と技術	テーピングとリムービングの使用方法
11	小テスト	復習テスト
12	カウンセリング	お客様に対するカウンセリング、アフターケアの説明を実践する
13	まつ毛エクステンション 実習⑤	装着復習
14	前期末テスト	期末テストを実施
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	キャリアデザインⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティ国際科	1	30
使用教材	—		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする				
到達目標	自己の人生をコントロールする方法を理解することができる。 健全な人間関係構築のための考え方を身につけることができる。				
評価基準	授業態度：30% レポート・課題など（提出物）：70%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	就職対策Ⅰ・Ⅱ / キャリアデザインⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田村 達也	実務経験	○		
実務内容	明星大学日本文化学部造形芸術学士。中学校教諭一種免許状、高等学校教諭 一種免許状取得。 美術クリエイターとして4年、美容学校教師歴13年の実務経験を基に、日本社会で働く上での会計基礎、実務を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・導入	日本の硬貨・紙幣の歴史とマナー
2	世界と日本の物価比較	ビッグマック指数で見る世界の経済
3	アジアのマネー事情	アジア各国のキャッシュレス化の進歩
4	アルバイトと税金	給与明細の読み方、所得税の仕組み
5	日本での生活費	家計簿シミュレーション
6	男女の収入格差	ジェンダーギャップ指数と経済の関係
7	美容業界の経済	日本の美容市場の規模
8	銀行の仕組み	日本の銀行口座、振込、ATM手数料
9	日本の税金と社会保険	消費税の使い道、健康保険のメリット
10	賢い買い物術	ポイント還元、クーポン、セール時期
11	お金のトラブル回避	投資詐欺、リボ払いの怖さ
12	投資と資産運用	NISA・iDeCoって何？将来の備え
13	為替と送金	円安・円高の影響、母国への送金方法
14	前期の振り返り	学んだことの総復習
15	総合授業	前期授業のまとめを行う（テストの振り返り含む）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	キャリアデザインⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティ国際科	1	30
使用教材	—		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする。				
到達目標	自己の人生をコントロールする方法を理解することができる。 健全な人間関係構築のための考え方を身につけることができる。				
評価基準	授業態度：30% レポート・課題など（提出物）：70%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	就職対策Ⅰ・Ⅱ / キャリアデザインⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田村 達也	実務経験	○		
実務内容	明星大学日本文化学部造形芸術学士。中学校教諭一種免許状、高等学校教諭 一種免許状取得。 美術クリエイターとして4年、美容学校教師歴13年の実務経験を基に、日本社会で働く上での会計基礎、実務を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンのお金とは？	売上、費用、利益の基本構造
2	経費を計算	固定費（家賃等）と変動費（材料費等）
3	原価の意識	節約術、材料の無駄をなくす工夫提案
4	メニューの価格設定	客単価と回転数。利益が出る値段とは？
5	スタッフと給料	社会保険完備、歩合制、求人コスト
6	集客と広告費	SNS運用 vs 広告媒体。費用対効果
7	接客とお金	物販（店販）の重要性。利益率の違い
8	日本で独立する条件	必要な資格、保健所の検査、届け出
9	外国人の起業ルール	「経営・管理」ビザ取得のハードル
10	事業計画書①	お店のコンセプトとターゲット設定
11	事業計画書②	必要な開業資金のシミュレーション
12	資金調達と借金	日本の銀行からお金を借りる方法
13	リスクと保険	トラブル（ケガ、火災）への備え
14	成功と失敗の分かれ道	繁盛店と閉店してしまう店の違い
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	イベント実践		
必修選択	選択	(学則表記)	イベント実践		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	1	20
使用教材	-		出版社	-	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①学んだ技術、サロン運営を行う力、現場力を身につける ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる				
評価基準	テスト：20% 小テスト：40% 授業態度：20% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	メイクアップⅠ～Ⅳ、ネイルテクニックⅠ～Ⅳ、ヘアテクニックⅠ～Ⅳ、フェイシャルスキンケアⅠ～Ⅱ、トータルビューティーⅠ～Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田村 達也	実務経験		○	
実務内容	明星大学日本文化学部造形芸術学士後、美術クリエイターとして4年間勤務をした実務経験を基に、シーンに合わせた技術と実践力を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入、オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	技術練習、準備	
3	技術練習、準備	
4	技術練習、準備	
5	技術練習、準備	
6	技術練習、準備	
7	技術練習、準備	
8	技術練習、準備	
9	技術練習、準備	
10	技術練習、準備	
11	技術練習、準備	
12	技術練習、準備	
13	技術練習、準備	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う